

# 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[設定](#)

[ネットワーク図](#)

[初期設定](#)

[フィルタ オプション](#)

[リストを配って下さい](#)

[概略アドレス](#)

[ルート マップ](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

## 概要

Cisco IOS® および IOS-XE® を

Rohit Nair によって貢献される、Cisco TAC エンジニア。

## 前提条件

### 要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。この資料は Cisco IOS を実行するスイッチおよびすべての Cisco ルータに適用します。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

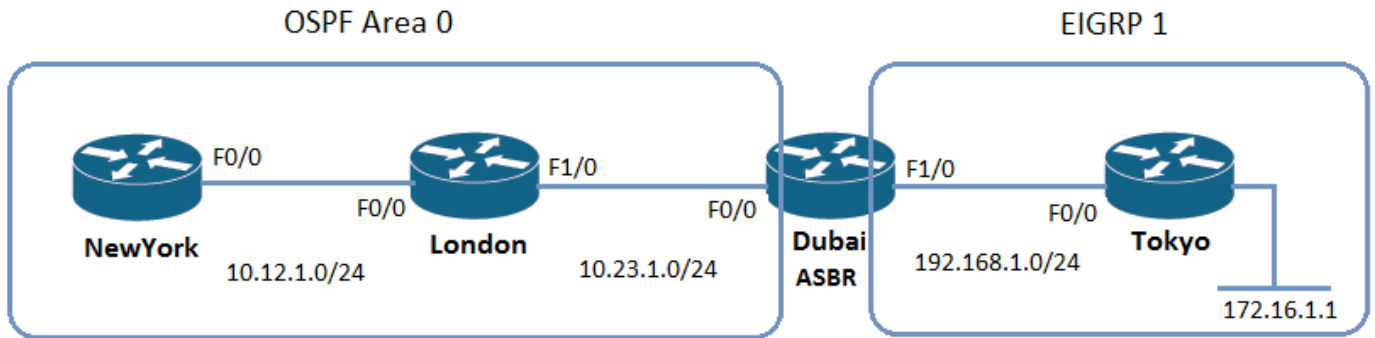
## 背景説明

OSPF 型 5 LSA は自律システム境界ルータ (ASBR) によって開始され、OSPF 領域の内であられます。これらのルーティングは他のプロトコルからのまたは接続されるか、またはスタティック・ルートの再配布による OSPF に再配布によって生成されます。

# 設定

次の例は OSPFドメイン内のフィルタ タイプ 5 LSA にさまざまなメソッドを示したものです。

ネットワーク図



初期設定

NewYork

ロンドン

ドバイ

東京

フィルタ オプション

リストを配って下さい

分配リストは access-list と機能したり、関連付けましたまたはプレフィクスリストは型 5 LSA を生成する ASBR で使用することができます。

注コマンドは OSPF のサポートされているコマンドではないです。 `distribute-list out <protocol>` コマンドは使用する必要があります。

ASBR からの例は、ドバイ下記にあります。分配リストが EIGRP からのどんなネットワークが、OSPFドメインの内でアドバタイズされるべきであるか定義するのに使用されています:

適用の後で上はリストを配ります、192.168.1.0 LSA は NewYork およびロンドンで見られません:

NewYork:

ロンドン:

注 インターフェイスにリンクされる **distribute-list in** はエリア内のあらゆるルータで使用することができます。しかしこれはルーティング テーブルにインストールからだけ、ルートを制限し、転送からの型 5 LSA をブロックしません。

概略アドレス

Router ospf プロセスで ASBR でない **アドバタイズ** キーワードと共に **summary-address** コマンドがタイプ 5 LSA の伝搬を停止するのに使用することができます。

ドバイで 172.16.1.0 タイプ 5LSA のアドバタイズメントを停止するのに、summary-address コマンドが使用されていました。

ドバイ:

172.16.1.0 LSA は NewYork およびロンドンにもはやありません:

NewYork:

ロンドン:

ルート マップ

IGP を OSPF に再配布している間、ルート マップも ASBR の生成から型 5 LSA を停止するのに使用することができます。

ドバイ、EIGRP から再配布している間、OSPF にアドバタイズからの 192.168.1.0 サブネットを否定するのにルート マップが使用されている:

ドバイ:

192.168.1.0 のための型 5 LSA は作成されません:

検証

確認はフィルタリングされた LSA が全くブロックされたかどうかを確認する **show ip ospf database external** コマンドのチェックによってすることができます。

## トラブルシューティング

現在のところ、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。